

令和5年度村上市路線バス再編調査検討業務の中間報告について

業務の目的

令和2年度に策定した村上市地域公共交通計画の施策である「バス路線の維持」及び「のりあいタクシーの運行効率化」による重複路線の統廃合及び運行時間の見直しを行うとともに、令和2年度に策定した村上市地域公共交通計画の中間見直しを行い、持続可能な地域内公共交通ネットワークの形成することを目的とする。

路線バスを取り巻く現状

- 少子高齢化・人口減少及び自家用車の普及が進み利用者が少なくなっている
- 運転士などの労働力不足が顕在化
- 利用者が減少するなか村上市からの補助金額は年々増加

課題

- 少子高齢化・人口減少、自家用車の普及した社会においてバスの特性（定時定路線、大量輸送）が十分発揮できているか検討が必要
- 運転士不足や労働環境改善のため余裕を持ったダイヤ編成とする必要が有る
- 利用の少ない路線や重複路線の統廃合による効率化を進める必要が有る

再編の方向性～主なもの～(案)

- 持続可能な運行を維持するため運転士不足や運転士の労働時間の改善を念頭に置いた再編とする
- バス路線の維持と運行の効率化を図るため路線バスは全て村上市地域公共交通活性化協議会が運行委託するコミュニティバスへ切替える（関川村接続路線を除く）
- 利用の少ない路線を見直し再編
- 朝日地区路線は利用の少ない昼間の運行を中心に見直し
- まちなか循環バスはルートの見直しを検討

再編の実施時期(案)

令和6年10月を予定